

第二編
人
員
問
題

第二編 人員問題

幹部會ハ十一月十一日ノ決議ニ基キ一委員會ヲ設置シ引續キ人員問題ノ研究ヲ行ハシムルコトトセリ

右委員會ハ佛、英、伊、波、和蘭、洪、塞、瑞典、米、露ノ十國ヨリ成リ瑞典ノ「ウエストマン」ヲ議長及報告者トセリ

幹部會ハ人員問題ノ豫備的研究未タ充分ナラサルヲ認メ本委員會ヲシテ人員問題全般ノ審議ヲ行ハシメタリ

同委員會ハ十一月十一日ヨリ十一月三十日迄十八回ニ互リ會合左記ノ問題ヲ審議シ之ヲ一般委員會討議ノ基礎トシテ採擇セリ

一、其ノ議事事項及其ノ順序左ノ如シ

(一) 英案第二編人員第三章(縮少並編制替手續ニ關スル條項)

(二) 監督ノ爲ニスル人員ニ關スル報道交換

(三) 英案第十八條ノ I X I Y ニ關スル事項

(四) 英案第十六條第十七條ノ服役期間並現役及復習教育期間ノ計算

(五) 英案陸軍人員屬表第一ノ形式

二、右ノ審議ニ先チ伊、洪ハ左ノ聲明ヲ爲セリ

洪ノ聲明

ナリ
1. 本委員會ノ業務完成ノ爲ニハ先ツ主義ノ決定ヲ要スルニ未タ其ノ事ナキヲ以テ其ノ任務ヲ實行スルコトハ不可能ナリ

2. 洪ハ軍縮問題ニ關シ特殊ノ地位ニアリ從テ現在ハ如何ナル約束若クハ發表ヲモ爲シ得ス

3. 洪ノ態度ハ懸案ノ進展如何ニ依ルモノナルヲ以テ主義ノ決定ニ伴フテ行動スヘキ權利ヲ留保ス

伊ノ聲明

十一月十一日幹部會ニ於ケル伊國代表ノ聲明ニ基キ伊國委員ハ本年七月以前ノ會議ニ於テ審議セラレタル事項ニ關シテハ意見ヲ述フヘキモ條約基礎トシテ採擇セラレタル案ニ對スル其後ノ修正若クハ追加ニ關シテハ意見ヲ發表シ又ハ其ノ討議ニ參加スルヲ得ス從テ此ノ事項ニ關シ伊國代表ノ行動ノ自由ヲ留保ス

三、議事ノ概要

第一、英案第二編人員第三章（人員縮少並編成替手續ニ關スル條項）十一月十三日ヨリ二十三日迄九回ニ互リ審議ヲ行ヘリ

英案ハ元來本章ヲ空白トナシアリシカ五月五日ノ一般委員會ニ於テ英代表部ハ一案（Conf. D/C.G./87）ヲ提出シタリ
之ニ對シ洪牙利代表ハ其ノ實行期間ヲ三ケ年トナスヘキ修正案ヲ提出シ且特ニ長期兵ノ除隊ニ比例シテ短期兵ヲ増加スヘシトナセリ

本委員會ハ本章ヲ審議シ之ヲ陸軍ニ適用スル場合ノモノトシテ左ノ案（Conf. D./Bureau/C.E./13）ヲ採擇セリ

A 條（要旨）

締約國ノ陸軍日割平均人員ノ總縮少ハ各區分毎ニ第二編屬表ノ人員ト後ニ定ムヘキ某年度ニ付條約所定ノ方法ヲ以テ算定セル日割平均人員トヲ基礎トシテ算出ス

B 條（要旨）

屬表第一ニ基ク陸軍日割平均人員ノ縮少ハ左ノ如ク實施スヘシ

條約實施第一年度末 所定總縮少ノ少クモ X %

同 第二年度末 同 三〇 %

同 第三年度末 Y %

同 第四年度末 七五 %

同 第五年度末 一〇〇 %

C 條

D. E. F. G. H. 條ハ本編第二章ノ陸軍（歐洲大陸國）ニノミ適用セラル

D 條（要旨）

a. 屬表第一ノ結果陸軍日割平均人員ヲ増加スルモノニシテ第二章ノ適用ヲ受ケ長期兵ヨリ短期兵ニ移ル場合ニハ B 條所定ノ率ヨリ多カラサルモノヲ適用ス

b. C 項（譯文略）ニ於テ右ノ特例ノ場合ノ取扱方ヲ規定ス

E 條（譯文略）

長期兵ノ毎年度ノ減少比率ノ所要最少限度ヲ規定ス

F 條（譯文略）

英案第十八條第二項實現ノ爲一九三三年一月現在ノ長期兵ヨリ成ル團體ニ對スル最少限解散比率ヲ年度毎ニ規定ス

G 條（譯文略）

許容長期兵以外ノモノニシテ長期兵制ヨリ英案第十六條所定ノ服役期制ニ移ル中間規定トシテ各年度ノ新編入兵ノ爲ノ許容服役期間ヲ規定ス（増加シ得ヘキ期間ヲ第十六條所定ノ服役期間ヲ基礎トシテ指示ス）

H 條（譯文略）

前諸條ニ依リ除隊セル長期兵ノ雇傭ヲ制限ス

I 條（要旨）

各締約國ハ常設軍縮委員會ニ對シ條約實施ニ入レハ速ニ之ヲ報告スヘク且尠クモ條約實施後一年ニ於テ本章ノ規定ノ履行手段及第三編Y條所定ノ報告全部ヲ提出スヘシ

右審議間ニ現レタル意見ニシテ注意スヘキモノ左ノ如シ

1. 縮少及編制替ノ出發點トナルヘキ年度ハ一九三〇年乃至一九三二年ノ間ヲ可トスル委員會ノ意見ナリ
2. 右ニ關聯シ人員計算ハ法定人員ナリヤ實在人員ナリヤノ問題ヲ再燃セシメタルモ元來英案ノ各條ハ日割平均人員即チ實在人員ヲ基礎トシテ起案セラレアルモノニシテ既ニ一般委員會ニ於テ大ナル反對ナク採擇セラレタル第十一條ハ日割平均人員ヲ算出スルモノナリ然レトモ一部ノ委員ハ之ニ對シ尙態度ヲ決スル能ハストセルヲ以テ將來再ヒ問題トナルヘシ

3. 採擇セル案ニハ縮少及編制替ノ爲ノ第二、第四、第五年度ニ於ケル具體的比率ヲ規定シアルモノハ暫定的數字ニシテ委員會トシテ確定セルモノニアラス

第一第三年度ノ比率ハ未定ナルモ條約調印迄ニハ決定スヘキモノトス

以上ノ如ク年度毎ニ比率ヲ定ムルハ條約ノ實行並其繼續ヲ監督スル爲必要ナルニ基ク

4. F條ノ團體(Div.)ノ定義ハ未定ナリ一部ニハ師團全部ヲ指スモノナリトノ見解ヲ有スルモノアリキ

5. 常設軍縮委員會ニ提出スヘキ報告ニ關シテハ先ツ條約實行ノ一般計畫ヲ通報シ且尠クモ人員増加ノ場合ニハ其着手前ニ通報スルコトヲ必要ナリトナス

細部ノ實行手段ハ年々通報シ得ルニ過キササルヘキモ必ス事前ニ行フヘキモノトス

以上ニ對シ洪ハ條約ノ他章ニモ此ノ精神ヲ適用セラルルニアラサレハ之ヲ受諾シ得スト述ヘ波蘭ハ曩ニ一般委員會ニ於テ爲シタル留保ニ基キ職業軍ノ編制替及其ノ人員増加ニ關スル條項ノ審議ニ參加シ得ストナシ第二讀會ニ於テ本問題ニ觸ルル權利ヲ留保セリ

第二、人員ニ關スル報道交換

英案第三編ハ未記入ノ儘トナリアルヲ以テ之カ完成ヲ擔任セル英國委員ヨリ該編ニ入ルヘキ人員關係事項ノ通報方ヲ要求シ來レルニ基キ二十三日ヨリ二十七日迄六回ニ互リ研究ノ結果人員監督ノ爲各締約國カ常設軍縮委員會ニ通報スヘキ事項トシテ左記(Conf. D/Bureau/C.E./21)ヲ採擇セリ

A. 各國カ提出ノ義務ヲ有スル書類

1. 陸軍編制(組織、徵募、幹部及人員)並軍事豫備教育ニ關スル法令、規則
2. 豫算ニ關スル書類
3. 平時編制
4. 常備團體配置表(一時的移動ヲ含マス)
5. 將校停年名簿
6. 陸軍及類似團體(軍事化警察、陸軍人員ニ算入スヘキ海軍人員)並軍事豫備教育團體ノ人員數ニ關スル三ヶ月報(報告様式ヲ附ス)(本國軍ハ每三ヶ月、海外領土軍ハ一年ニ一回提出)
7. 志願ニ依ル服役、再服役及除隊ニ關スル報告(月報トスヘキヤ否ヤハ未定)
8. 日當支拂人員ニ關スル三ヶ月報
9. 日當、食事、被服ニ關スル經費ノ三ヶ月報
10. 日當、手當ニ關スル規則
11. 陸軍人員ニ算入セサル警察及類似團體ノ性質、行爲、人員ニ關スル年報(報告様式ヲ附ス)
12. 軍隊外軍事教育禁止並軍事豫備教育ノ實施ヲ條約所定ノ範圍内ニ於テ行ハシムル如ク監督スル爲ニ必要ナル書類

右ノ内6.11.ハ新ニ作成ヲ要スルモノナルモ其他ハ各國ニ資料現存ストノ見解ナリ

11.ハ常設軍縮委員會ヲシテ軍事の性質ナキ警察及類似團體ノ監督ヲ容易ナラシメントスルモノナリ
又12.ニ關シ委員會ハ(1)各國政府ハ十八歳以上四十歳以下ノ男子會員百名以上ヲ有スル體育、射擊協會、在郷軍人會
ノ名稱、所在地、定款ニ關スル報告ヲ出スコト(2)條約實施ノ次年度ニ各國政府カ軍隊外軍事教育禁止ノ爲ニ執リシ
處置ヲ通報スルコト(3)軍隊外軍事教育監督ノ爲ニハ現地調査ヲ以テ有效ナル手段ト認ムルコト等ヲ附加セリ

B. 徵兵制度ノ國ノミ提出ヲ要スル書類

1. 人口及死亡統計

2. 壯丁ノ體格ニ關スル年報

3. 各部兵科ヘノ徵兵編入ヲ示ス中央徵兵所ノ特別報

4. 徵兵配屬ニ關スル各部、兵科ノ一般報

右書類ノ提出ハ職業軍國ニハ任意トス

以上ノ審議中蘇ハ報告義務ハ各國特ニ蘇ノ隣邦ニモ均シク適用セラルヘキヲ主張セリ

又佛ハ常設軍縮委員會カ英案第六十九條ニ基キ要求シ得ヘキ報告ニ關シ一案ヲ提出シ常設軍縮委員會若ハ之ニ依リテ
任命セラレタル委員會ノ要求ニ對シ被要求國ハ其ノ要求セラレタル報告ノ提示ヲ拒否シ得ストナスニ對シ英米ハ該委
員會カ要求シ得ルコトヲ示スノミニテ夫レ以上ニ及ハストナシ且人員委員會ハ之ヲ審議スヘキ任ニアラスト主張シ遂
ニ本問題ハ報告書ニ記載スルニ止ムルコトトセリ

第三、英案第十八條(歐洲大陸々軍ニノミ適用)ノIX IYノ比率(將校、士官候補生及同相等官、下士第十六條ニ
規定セラレル期間ヨリ長期間服役スル兵及之ニ相當スルモノ)

十一月二十八日之カ審議ヲ爲セリ

一九三三年五月三日ノ一般委員會ニ於テ英案第十八條審議ニ方リ佛國代表ハ職業軍人ノミヲ以テ編成スル團體ヲ禁止
スヘキコトヲ提案シ遂ニ第十八條第二項トシテ之カ禁止ニ關スル規定ヲ附加セラルルニ至レリ

當時瑞典代表ハ長期兵ノ數ニ關シ條約所定ノ服役期間ノ最大限ヲ採用スル國ト著シク短期間ノ服役ヲ採用スル國トニ
對シ同一比率ヲ適用スルコトハ不可能ナリト述フル所アリキ

即チ後者ノ場合ニハ徵兵在營期ト非在營時期トニ依リテ職業的人員ノ比率ニ大差ヲ生ス從テ英案第十六條所定ノ期間
ヨリ以上ニ服役スルモノト全人員數トノ比率ヲ一樣ニ規定スルコトノ困難ナルハ明ナリ

一般委員會ノ要求ニ依リ「ポリチス」ハ之ニ關スル報告ヲ起草セル所各國ノ所要比率ニ甚タシク差アルヲ認メ各國毎
ニ最大限ヲ規定スヘシトノ結論(三條件ヲ附加ス)(Conf. D./C.G./152)ニ達セリ

委員會ハ「ポリチス」ノ報告ニ基キ意見ヲ交換セルモ參加國ノ少數ト未知要件(服役期間、屬表第一ニ入ルヘキ各國
配當人員數、第十八條ニアル「相當者」ノ定義等)ノ存在ニ基因シ決定的態度ヲ定ムルヲ得ナリキ然レトモ討議ニ依
リテ達シ得タル結果左ノ如シ

1. 委員ノ多數ハ一般服役期間ヨリ長期間服役スル人員數ヲ普遍的ニ制限スルコトヲ規定スルヨリモ各國毎ニ規定ス
ヘク而モ此制限ハ各國ノ特殊ノ事情ヲ考慮シツツ國家群ニ適用スルヲ可トスル意見ナリキ即チ同一國家群ニ屬スル
モノト雖「同様ノ身分ヲ有スルモノ」(Persons of equivalent status)、長期服役者ノ性質、軍事豫備教育制度等ノ差ヲ
考慮セラルヘキナリ

特別人員委員會ニ於ケル討議ニ依リ(Conf. D./C.S.E./P.V. 7)英案第九條ニ規定スル「同様ノ身分ヲ有スル者」ハ
陸軍人員中ニ算入スルコトナレリ本委員會ノ討議ニ於テ徵募、動員、補給業務ニ服スル凡テノ官吏(文官タルト
否トヲ問ハス)ニシテ陸軍人員ト類似ノ身分ヲ有シ、當然陸軍人員ノ擔當スヘキ任務ニ服スルモノハ人員中ニ算入
スヘキモノナルコトヲ明ニセリ例ヘハ佛國ノ軍屬(Agents militaires)ハ之ニ該當スルモ職工ニシテ陸軍機關ニ雇

セラルモ軍人タルノ身分ヲ享有セサルモノ及中央官廳ノ文官ハ算入セス

長期服役者ノ性質ニ關シテハ長期在營シ特別ノ身分及手當ヲ受クル職業軍人ト一般服役期間ヨリモ稍々長ク服役スルモ本然ノ軍人ト言フヲ得サルモノトノ間ニ區分ヲ設クルノ要否ニ關シ討議シタル結果委員會ハ本問題ハ第十八條ノ適用ヲ受クル國ノ研究ニ俟ツヘキモノト爲セリ但シ此ノ兩者ノ人員數ハ出來得ル限り少數ニ制限スヘク且其ノ制限ヲ檢定シ得ルヲ要スト爲セリ

同一國家群ニ屬スル長期兵ノ數ヲ定ムルニハ次ノ事項ヲ考慮セサルヘカラス

- (1) 各國ノ配當人員
- (2) 各國ノ服役期間(幹部ノ數ハ服役期間ニ對スル質ト量トノ比率ニ逆比例スルヲ一般トス)
- (3) 軍事豫備教育ノ存否

2. 委員會ハ第十八條第二項ニ記述シアル「特殊部隊」(Specialized Unit)トハ次ノモノニ適用セララルモノトセリ

- (1) 第十五條ニ規定スル人員
- (2) 第十二條ニ規定スル警察及同類似團體
- (3) 佛ノ提案セル國際軍ニ含マルル部隊(佛提案力採擇セラレタル場合)
- (4) 其他ノ團體(通信隊、電氣隊ノ如キモノ)
- (4) ノ團體ハ將來ノ研究ニ俟ツ但シ委員會ハ此ノ部隊ヲ最少限度ニ縮少スヘク且明白ナル技術部隊ニノミ適用セララルヘシト爲セリ

之ヲ要スルニ本委員會ハ研究ノ結果個々ニ制限スル方式ヲ有利トスルコトヲ認メタリ然レトモ該方式ハ英案第十八條ニ在ル比率方式ニ比シテ著シク複雑ナルコトヲ感セサルヲ得サリキ

第四、英案第十六條第十七條(歐洲大陸々軍條項)ノ服役期間及現役並復習教育期間

右ニ關シ十一月二十九日ヨリ三十日迄三回ニ互リ審議セリ

1. 委員會ハ服役期間制限ノ主義ニ同意セリ

右期間制限方式トシテ提案セラレタルモノ左ノ如シ

普遍的最大限度(英案)

各部、兵科毎ノ期間制限(土修正案)

平均期間制限(伊修正案)

委員會トシテハ右三案ノ特徵ヲ紹介スルニ止メ決定の意見ヲ述ヘス

英案ハ各種軍ヲ短期兵ニ統一セントスル根本主義ニ基クモノナリ

土ノ修正案ハ各兵種ニ依リテ期間ニ差ヲ附シ從テ各國ノ事情ニ適應シ得ル可能性ヲ有ス

伊ノ修正案ハ徵兵中ノ一部ヲ長期在營トシ其他ヲ短期在營トス此人員ト期間ニ依リテ平均服役期間ヲ出スモノナリ

其ノ目的トスル所ハ徵兵ノ全部ヲ一年以下ノ短期兵トスル場合ニハ訓練ノ爲幹部トシテ多數ノ職業軍人ヲ要スルコトトナリ經費ノ増大ヲ來スヘキヲ以テ一部ノ徵兵ノ服役ヲ長カラシメ以テ教育ノ爲ノ幹部ニ充當セントスルニ在

リ

2. 討議中ニ服役期間ノ最少限度ヲ規定スヘシトノ意見起レリ其ノ理由トスル所ハ之カ規定ナキ場合ニハ軍事豫備教

育ヲ實行シアル國ニ於テハ軍事被教育者數ヲ増加スル目的ヲ以テ服役期間ヲ短縮スルコトアルヘシト謂フニ在リ之

ニ關聯シ佛國ハ毎年度ノ被教育者數ヲモ制限スヘシト提議セリ

3. 一部ノ委員ハ現役在營及復習教育ヲ別々ニ制限スヘシトノ問題ヲ提起セリ即チ某國ハ比較的長期現役在營ヲ行ハシメ合計二、三ヶ月ノ復習教育ヲ十年乃至二十年ニ互リ行フニ過キササルニ反シ他ノ國ハ短期ノ現役在營ヲ行ハシムルニ過キササルニ十五年乃至二十年ニ互リ年々復習教育ヲ行フモノアリトセンカ前者ハ豫後備兵ヲ直ニ攻撃ニ使用シ

得サルニ後者ハ迅速ニ攻撃ニ使用シ得ヘシトノ理由ニ基ク

又之ニ伴ヒ軍事豫備教育ヲ爲セルモノハ現役在營期間ヲ短縮シ得ヘシトノ議論ヲ誘起セリ

右ニ對シ一部ニハ此種ノ提案ハ嚴格ニ過クルモノナリトノ意見アリキ

4. 前述ノ制限ヲ各國毎ニ定ムヘキヤ數ケ國毎ニ定ムヘキヤ將又締約國全部ニ對シ定ムヘキヤニ關シ中間案ヲ可トスルモノ多カリシカ米國ハ特ニ地方的數ケ國毎ニ定ムヘシト云ヒ波蘭、塞、洪、佛之ニ同意セリ但シ佛ハ各國ノ特殊性ヲ考慮ニ入ルヘキヲ要求セリ

5. 之ヲ要スルニ委員會トシテハ英案ノ服役期間ヲ制限スヘキ主義ヲ採擇セルモ地方的協定ニ依リテ此ノ制限ヲ定ムルヲ可トスル意見ナリ

伊國ノ平均期間制限方式及佛國ノ提案セル在營最少制限若クハ年々ノ軍事被教育者數制限、現役並全復習教育期間別制限ハ注意ニ價スルモノトセリ然レトモ現況ニ於テハ第十六、第十七條ニ關シ委員會トシテハ決定意見ヲ述フルヲ得ス又決定の提案ヲ爲スヲ得サルヲ以テ各國政府ノ機關ニテ右問題ヲ研究セラルヘキモノト考ヘタリ

尙右ニ關シ佛國委員ハ在營期間ハ軍事豫備教育ヲ考慮ニ入レテ變更セラルヘキモノナリヤ或ハ之ヲ考慮セラレサルモノナルヤニ關シ (Conf. D. 162 ノ第十三、十五頁參照) 特ニ注意方ヲ要求スル所アリキ

然レトモ若シ日割平均人員數及服役期間ヲ著シク低ク制限スル場合ニハ右ノ問題ハ其ノ重大性ヲ失フコトナルヘシ

第五、英案陸軍人員屬表第一

十一月三十日之ヲ審議セシカ英案第十五條ニ依リ海外領土ノ補充増援ノ爲ニ本國ニ在ル部隊ハ英案第二章(歐洲大陸々軍編制統一)ノ適用外ニアルヲ以テ徵兵軍ニアリテハ屬表第一ノ本國駐屯軍ノ欄ヲ二分シ「本然ノ本國軍」ト「本國ニ駐屯スル海外領土軍ノ豫備」トナスヘシトノ意見ト該表第一欄ノ欄外ニ「内、々、々、名ハ第十五條ノ適用ヲ受ク

ル者ト附記スヘシトノ二提案アリキ委員會トシテハ之ヲ報告スルニ止メ意見ヲ決定セス

四、以上ノ審議ノ結果ニ基キ委員會ハ十二月五日 (Conf. D./Bureau/C.E./22) ヲ提出シ一先ツ其ノ業務ヲ休止セリ

本委員會トシテ審議スヘキ問題ハ尙存スルモ將來ノ議事ニ就テハ議長「ヘンダーソン」ト協議ノ上決定セララル管ナリ